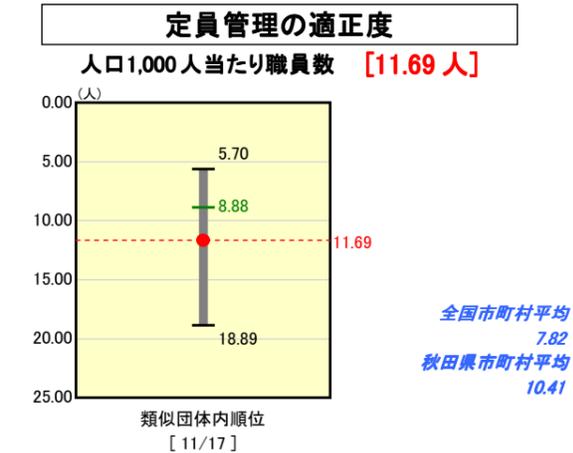
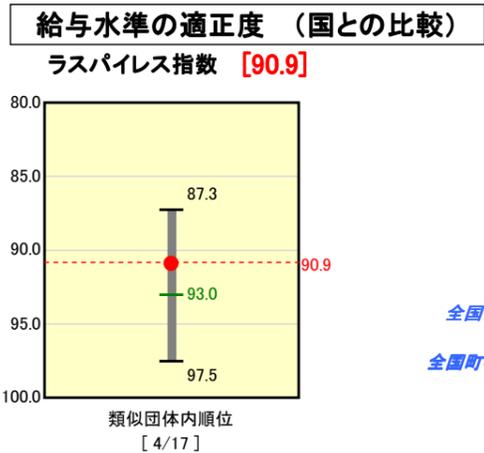
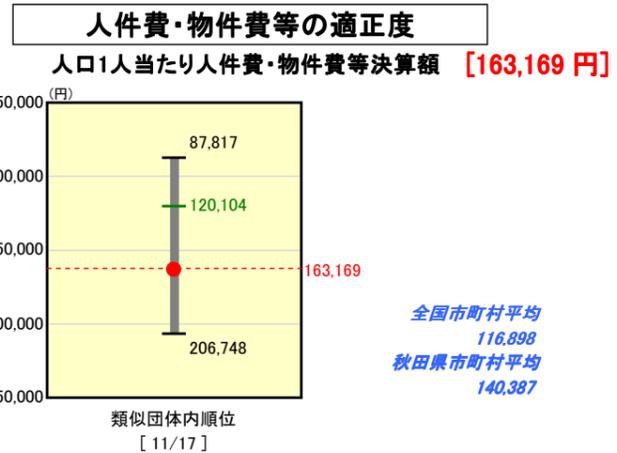
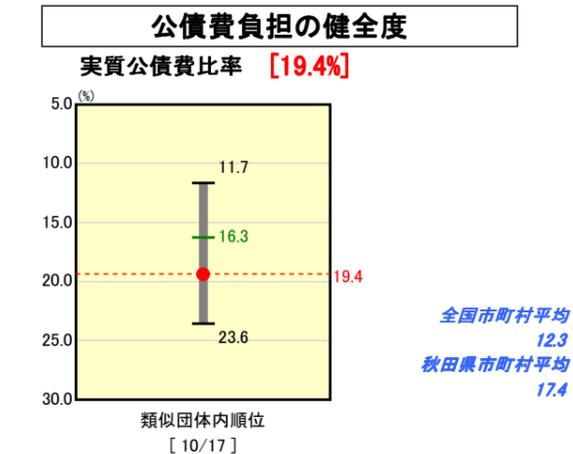
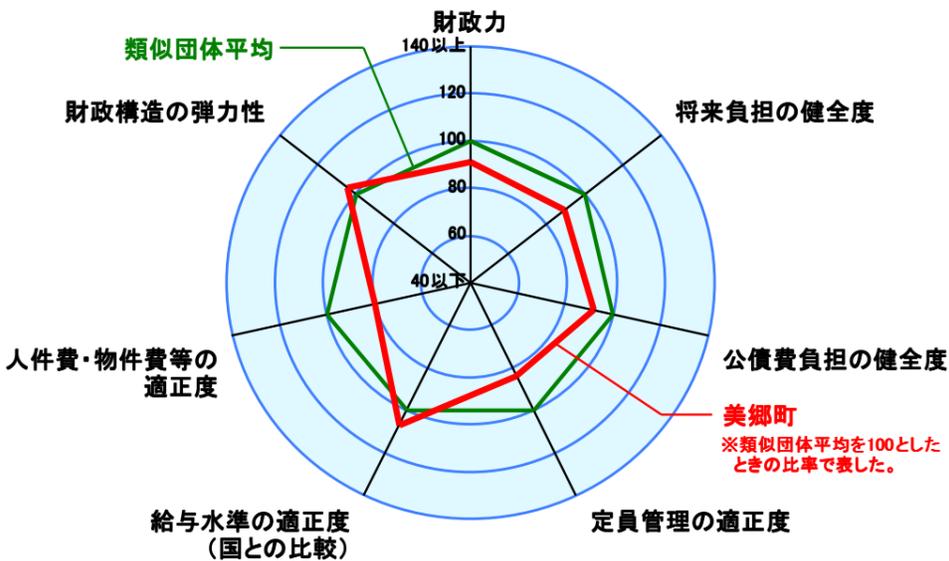
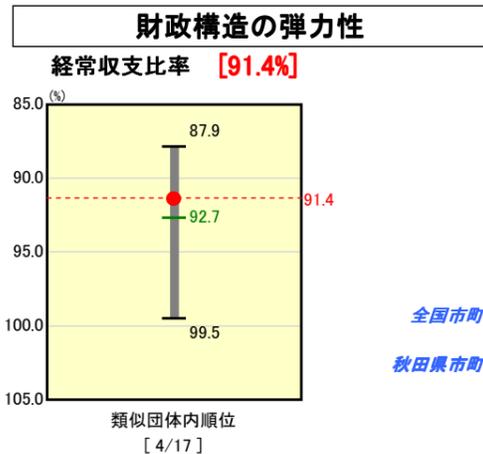
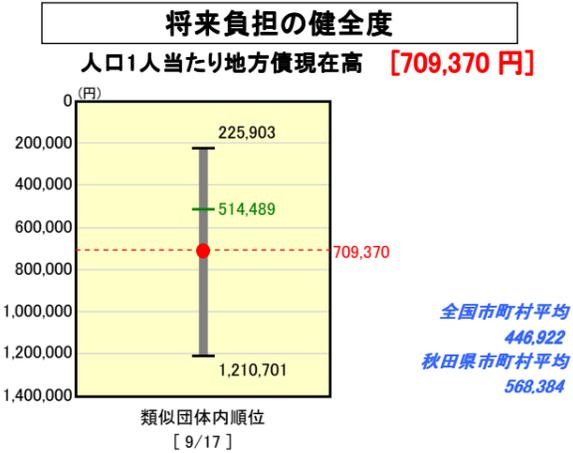
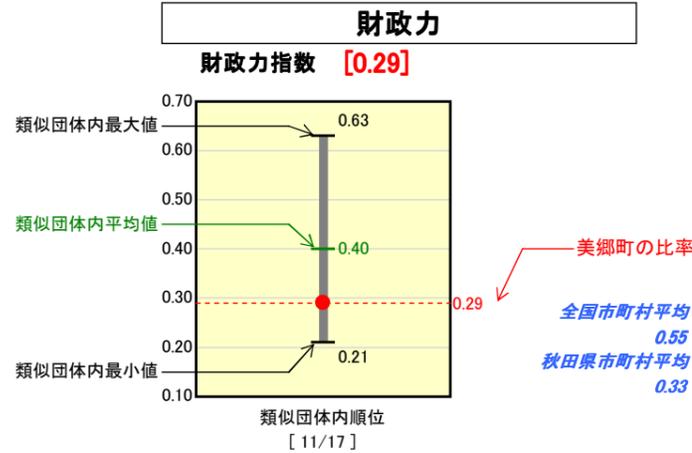


# 市町村財政比較分析表(平成19年度普通会計決算)

## 秋田県 美郷町

人口	23,014 人(H20.3.31現在)
面積	167.80 km <sup>2</sup>
歳入総額	12,278,735 千円
歳出総額	11,799,294 千円
実質収支	460,162 千円



※類似団体とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類した結果、当該団体と同じグループに属する団体を言う。  
※平成20年4月1日以降の市町村合併により消滅した団体で実質公債費比率を算定していない団体については、グラフを表記せず、レーダーチャートを破線としている。  
※ラスパイレス指数及び人口1,000人当たり職員数については、平成19年地方公務員給与実態調査に基づくものである。なお、平成19年度中に市町村合併を行った団体については、当該項目に係るデータのグラフを表記せず、レーダーチャートを破線としている。

※人件費、物件費及び維持補修費の合計である。ただし人件費には事業費支弁人件費を含み、退職金は含まない。

### 分析欄

**【財政力指数】**  
基幹産業である農業を取り巻く状況の厳しき、長引く景気の低迷による個人・法人関係の実質的な税収の伸び悩みから、0.29と類似団体平均を大きく下回っている。今後も「集中改革プラン」に基づき歳出の削減を図る一方、滞納対策本部を中心とした税及び税外収入の徴収強化に努め、財政の健全化を図る。

**【経常収支比率】**  
前年に比べ1.9ポイント改善され91.4%となっており、類似団体平均を下回ってはいるが、国体開催に伴う関係職員の人件費等を臨時的経費としたことなどによるものであり、根本的な部分の改善が必要となることから、今後は主要因である物件費を削減するため施設の統廃合を含めた管理運営の見直しを具現化することなど、更に経常経費の削減に努める。

**【ラスパイレス指数】**  
類似団体平均93.0を下回る90.9となっている。

**【人口1,000人当たり職員数】**  
類似団体平均8.88人を大きく上回る11.69人となっており、これは町村合併によるものであるが、今後も「集中改革プラン」に基づき退職者補充に係る新規採用を抑制し、平成24年度までに52名(18.4%)の職員の削減を図る。

**【人口1人当たり地方債現在高】**  
類似団体平均514,489円を上回る709,370円となっており、合併前に旧町村で実施した大型施設整備事業に係る町債の発行が大きな要因となっている。今後も、一会計年度の町債発行額を当該年度の償還元金の範囲内に納めるといった内部の取り決めを遵守し、既発債の償還については、繰上償還が可能な局面には積極的に取り組み、公債費負担の解消に努める。

**【実質公債費比率】**  
類似団体平均16.3を3.4ポイント上回っている。人口1人当たり地方債残高の分析欄の公債費のほか、公営企業に対する繰出基準外の繰出金や公債費に準ずる債務負担に基づく支出が類似団体に比べて多額であることが要因となっている。今後は、「公債費負担適正化計画」に基づき、公債費の抑制に努め、また、準公債費についても可能な限り繰上償還を行う。なお、公債費については、平成19年度をピークに減少していく見通しとなっている。

**【人口1人あたり人件費・物件費等決算額】**  
類似団体平均120,104円を大きく上回る163,169円となっている。物件費等については経常収支比率の分析欄にあるとおり公共施設の維持管理経費などによるものであり、人件費については、人口1,000人当たり職員数の分析欄のとおり職員数が多いことによる。